

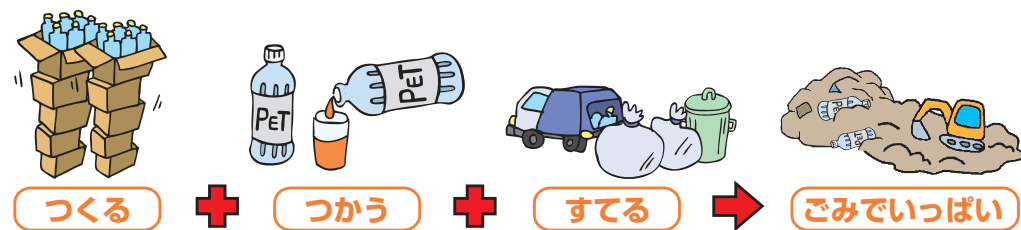
もっとくわしく。
平成20年版環境・循環型社会白書：P167～240を見てね。

Q11 今日のごみをどうやって捨てたかな？

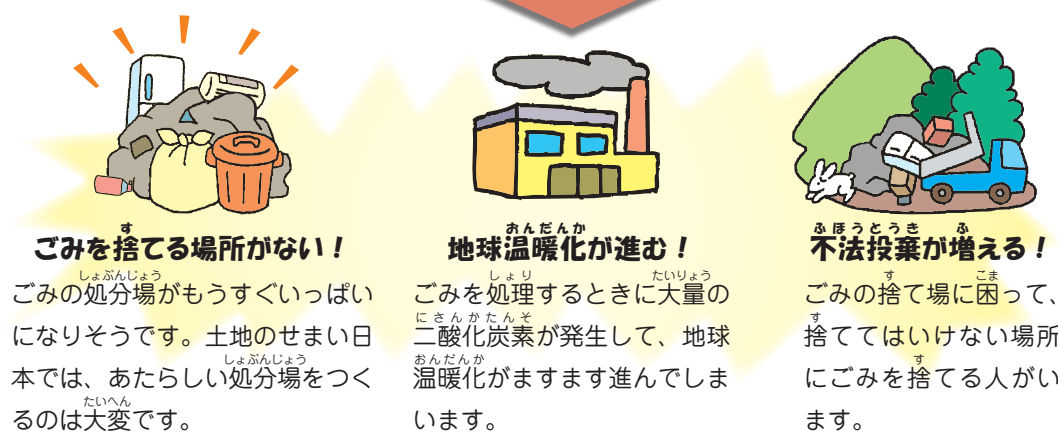
- ①捨てる前に考えて、別の用途に再利用したからごみはゼロ！（5点） ②分別はちゃんと出来た（3点） ③面倒だから全部一緒に捨てた（0点）

問題。この式の答えは？「大量生産 + 大量消費 + 大量廃棄 = ？？？」

答えは「ごみの増加」です。大量のごみが行き場をなくして問題になっています。



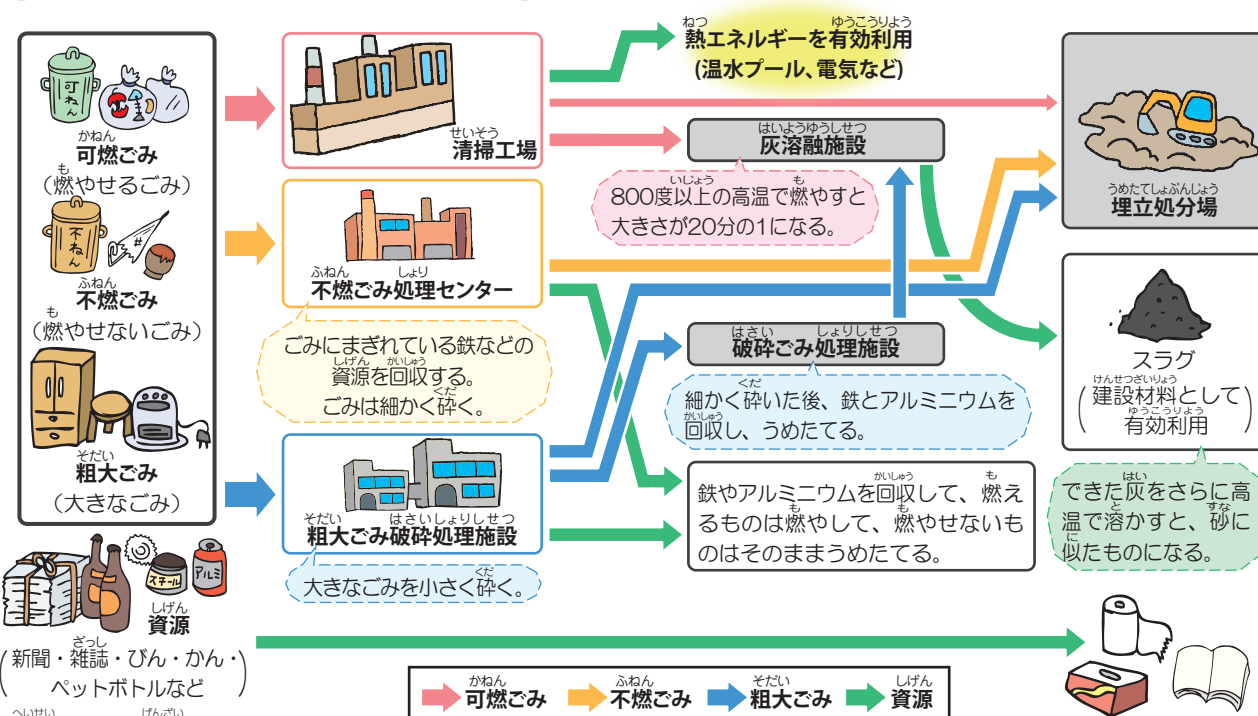
これじゃ、ごみは増えるばかりじゃないか。捨てる場所がなくなったり、色々な問題も起きているんだね。でも、燃やせばごみはなくなるんじゃないの？



まちの収集所に出せば、ごみが自然になくなるわけではありません。

まちの収集所で回収されたごみは手間とお金、エネルギーをかけて分別・処理されています。

【ごみ処理の主な流れ（東京都23区の例）】



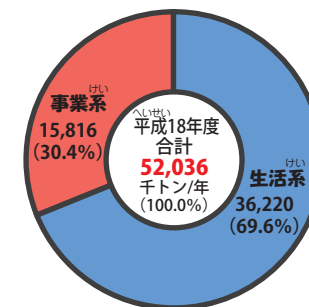
（平成20年10月現在）
資料：東京二十三区清掃一部事務組合



一般廃棄物のうち、約7割が家庭から出ています。

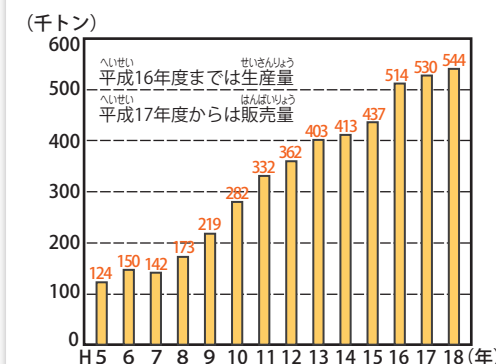
意外と多い家庭のごみ。お菓子の箱やペットボトル、ピンやカン、シャンプーや洗剤のボトルなどの製品を入れる「容器包装」が大部分を占めています。

【生活系と事業系のごみの排出割合】



注）集団回収量は生活系ごみ排出量に分類した
資料：環境省

【ペットボトルの生産量の増え方】



資料：PETボトルリサイクル推進協議会資料をもとに環境省作成

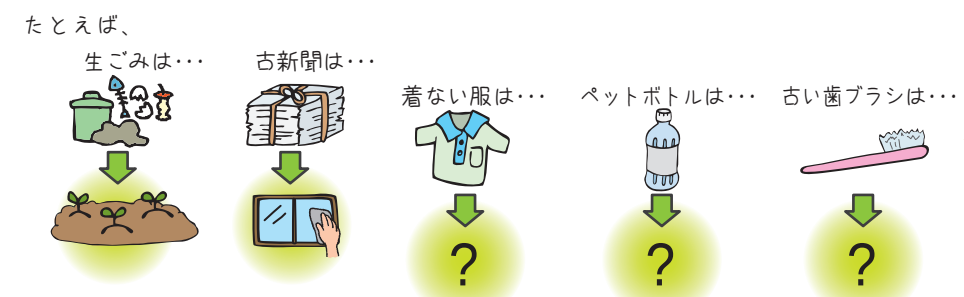
生産量が増えているってことがどういふことか、考えないとね。日本では、1人が1日に約1Kgのごみを出しているみたい。1ヶ月、1年たったら何kgになるかな？それに家族の分を足したらもっと増えるね。捨てる場所がなくなったら、すごく大変だね。



ごみをごみと呼ばないで。

家庭から捨てられるごみの多くは、工夫をすれば利用できるものがたくさんあります。

一人ひとりのアイディア次第でごみはごみでなくなります。



何に使えるか考えてみよう！
他にもまだまだ使えるものはあるよ！



コラム

「きみの一言でごみが減る～コエ出してエコ～」

- 2008年度のNHK環境キャンペーン（AC共同キャンペーン）は、コンビニエンスストアが舞台です。
- 「心で思っている、言葉にしないと始まらない！」そんなメッセージを、「コンビニでのレジ袋」というシーンで表現しています。
- いままで言えなかった人も、今日から少し勇気を出して「袋いりません。」と言ってみましょう。
- 「コエだしてエコ」、ここからエコを始めましょう。

画像は掲載出来ません

2008年度NHK環境キャンペーン（AC共同キャンペーン）